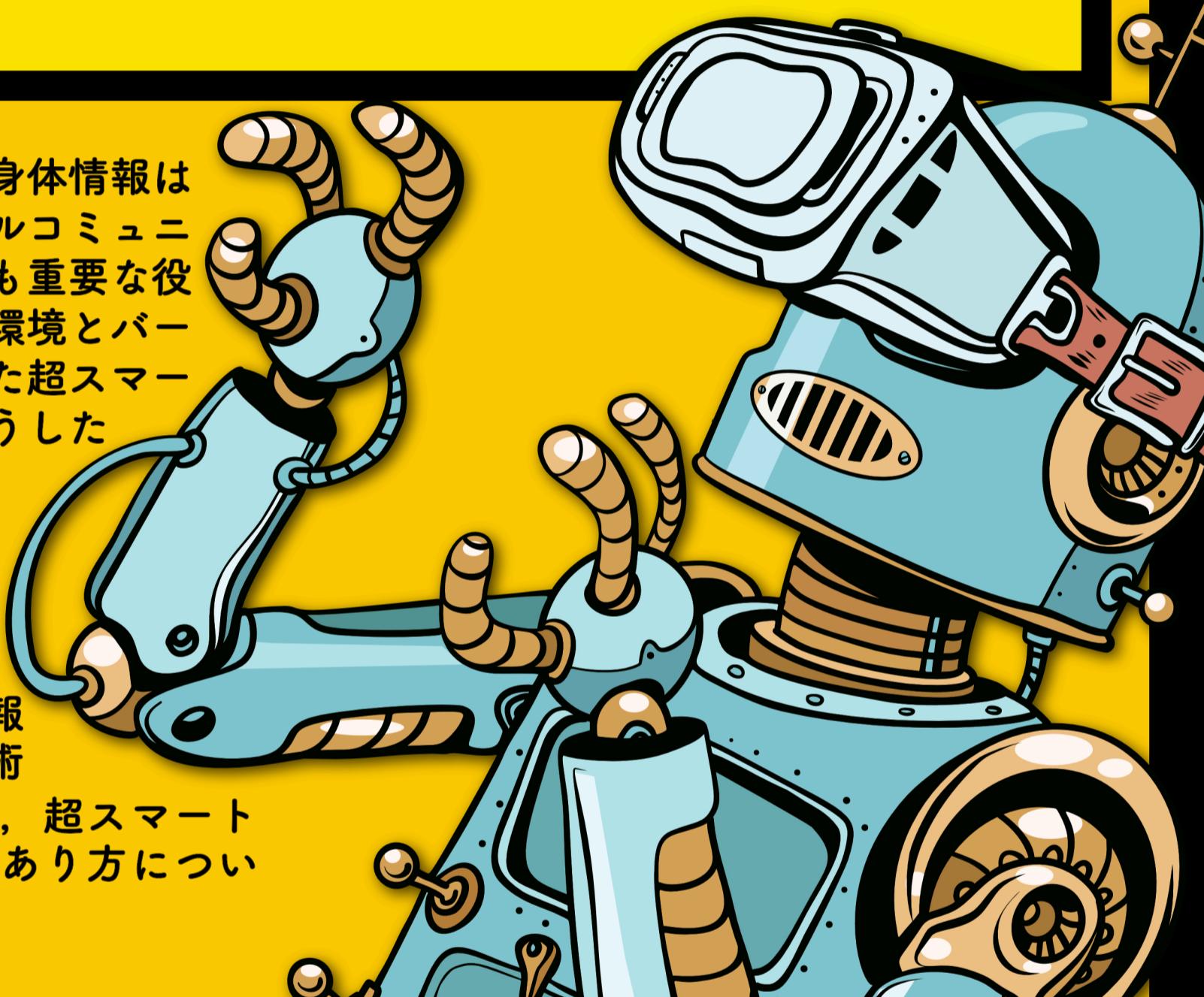


# 超スマート社会における身体情報学

## 視線や表情の理解と共有を目指して

視線や表情といった身体情報は実社会のノンバーバルコミュニケーションにおいても重要な役割を担っている。実環境とバーチャル環境が融合した超スマート社会においてはこうした身体情報をどのように活用していくことができるだろうか。

本講演では、身体情報を計測・解析する技術の紹介を交えながら、超スマート社会における身体のあり方について考えていきたい。



# 12月6日 (水) 18:15～19:45

講師：杉本 麻樹

慶應義塾大学理工学部  
情報工学科准教授

場所：日吉キャンパス 来往舎1F  
シンポジウムスペース

対象：塾生・教職員  
(無料予約不要)

問い合わせ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

## 杉本 麻樹

慶應義塾大学理工学部情報工学科准教授。1978年生まれ。電気通信大学大学院電気通信学研究科博士後期課程機械制御工学専攻修了。博士(工学)。専門は、ヒューマンインターフェース。組み込み型光センサやウェアラブルデバイスを活用した情報計測によって、実環境とバーチャル環境におけるシームレスなインタラクションの実現を目指した研究を行なっている。



<http://ice.lib-arts.hc.keio.ac.jp>



@KeioLearning